愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門プロジェクトⅡ		
担当者(Instructors)	Tran ThiTuyetNhung	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

「日本の商店街の活性化_プロジェクトⅠ」を継続して、学生が主体となって「日本の商店街の活性化_プロジェクトⅡ」を立ち上げます。プロジェクトⅠでは日本の商店街の現状や課題を明確に調査して、それに対して解決策を提案しました。プロジェクトⅡでは、世界各国の商店街の現状と課題を調べて、日本の商店街と比較することにより、日本の商店街を異なる観点から考察してみます。アメリカやイギリス、カナダをはじめ他の先進国においては商店街があるか、現状として活発に経営活動を行って地域の経済に貢献しているか、それとも日本と同じ課題に直面して衰退しているか等について調べます。また、ベトナムやタイやフィリピンのような新興国においては商店街があるか、スーパーマーケットのような近代的な商業施設と競争できるか等について調べます。各国の商店街の現状を調べた後、日本の商店街は他の国と比べてどんな特徴を持っているか検討した上で、日本の商店街活性化の意義や提案を深く検討します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行います。グループワークやプレゼンテーションを中心的に行います。 受講者が多数の場合、チーム別で行うことを基本とします。 情報収集及びプレゼンテーション作成等のためにノート型PC等のツールを持参する必要があります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	プロジェクト型学習の進め方を説明します。 プロジェクトの目的と実施方法を説明します。	□
第2回	日本の商店街の現状	日本の商店街の現状と課題を検討します。	□
第3回	世界各国の商店街の調査	世界各国の商店街の現状と課題を調べます。 調査項目を設定します。	□
第4回	先進国の商店街（1）	アメリカやイギリス、カナダをはじめ他の先進国においては商店街があるか、現状として活発に経営活動を行って地域の経済に貢献しているか、それとも日本と同じ課題に直面して衰退しているか等について調べます。	□
第5回	先進国の商店街（2）	アメリカやイギリス、カナダをはじめ他の先進国においては商店街があるか、現状として活発に経営活動を行って地域の経済に貢献しているか、それとも日本と同じ課題に直面して衰退しているか等について調べます。	□
第6回	発表会①の準備	先進国の商店街の現状と課題をまとめて、中間発表のためにPPT資料を作成します。	□
第7回	発表会①	PPT資料を用いて発表を行います。	□
第8回	新興国の商店街（1）	ベトナムやタイ、フィリピンのような新興国においては商店街があるか、スーパーマーケットのような近代的な商業施設と競争できるか等について調べます。	□
第9回	新興国の商店街（2）	ベトナムやタイ、フィリピンのような新興国においては商店街があるか、スーパーマーケットのような近代的な商業施設と競争できるか等について調べます。	□
第10回	新興国の商店街のまとめ	新興国の商店街の状況をまとめます。 発表のＰＰＴ資料を作成します。	□
第11回	発表会②	新興国の商店街の現状と課題について発表します。	□
第12回	日本の商店街の特徴を検討	他国と比べて日本の商店街はどんな特徴があるか考えます。 必要な場合、名古屋市にある商店街の現場調査を行います。	□
第13回	日本の商店街の課題を再検討	現在、商店街が繁栄している各国と比べて日本の商店街はなぜ衰退しているかという主要な課題を検討します。 必要な場合、名古屋市にある商店街の現場調査を行います。	□

第14回	日本の商店街活性化の政策を検討	商店街が繁栄していて、近代的な商業施設と共存できている国から日本の商店街活性化の政策と方法について議論します。	□
第15回	総括	プロジェクトの全体のまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回の演習内容について調査・予習すること（２時間程度）。演習後は、演習で取り組んだ内容や活動について自分の考えをまとめ、次回演習のアクションプランを作成すること（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

質問は演習中に随時受け付ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ **2021地域ビジネスDP3**	調査資料のまとめ、プレゼンテーションの発表ができます。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業の調査資料、発表のプレゼンテーションその他：ディスカッションへの積極的な参加、プロジェクトへの貢献

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	テキストなし 資料等を授業内で配付します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	演習時に指示します。	
2		
3		
4		
5		